

第2回学校運営協議会を開催しました

9月18日（水）、令和6年度第2回学校運営協議会を開催しました。今回は、学校運営協議会委員と十小の教員の代表とで、「児童の安全」について意見交換を行い、その後、学校運営協議会委員で熟議を行いました。

出席者

近藤区長、西公民館長、館林市国際交流協会前会長、
学校支援ボランティア、六郷地区青少推会長、民生委員、
主任児童委員、西公民館活動推進委員、第十小学校長、
第十小学校教務主任、CSディレクター



教員代表との意見交換の様子

学校運営協議会の内容

- 第1回学校評価の結果について（報告、質疑）
- 十小の教員の代表との意見交換
- 学校運営協議会委員による熟議

熟議での意見

- 登校時の旗振りで、当番の日に旗振りに来てくれない人がいて困っている。いろいろな事情でできないという人や、忘れてしまった、面倒くさいからとって、役割を果たしていない人もいる。やらない人がでてくると他の人もやりたくなる。
- 旗振りは子どもの安全のために必要なことなので、学校として、地域として、どのようなことができるのか考えなければならない。
- 車で送迎している保護者が多いが、通行のルール等を指導できているか。歩いて通学している子どもの安全や近隣への迷惑等、問題はないか。
- 子どもがどこを歩いて学校に来るのか、学校は把握できているか。通学路上の危険箇所を把握して、対応しているか。
- 安全協力の家がどこにあって、どんなときに利用できるのかを知らない子どもが多い。体調を崩したときや、不審者に遭遇したとき、天候の急変時などに駆け込めることを教えておきたい。安全協力の家のことを知っていれば、安心して通学できる。
- 学校だけでは解決できないことについて、学校運営協議会として協力・支援を行い、解決につなげていきたい。